



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1997, 68(3):  
366-366

ISSUE DATE:

1997-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96045>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成9年6月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第68巻 第3号

ISSN 0525-2997

**vol.68      no.3**

# 物性研究

**1997 / 6**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

### 原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

  - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
  - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
  - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
  - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
  - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
  - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
  - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
  - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（ $\square$ ）、イタリック（ $\text{\textit{A}}$ ）、ゴシック（ $\text{\textbf{A}}$ ）、ギリシャ文字（ $\alpha$ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
  - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

### 原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

  - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
  - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
  - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
  - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
  - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
  - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
  - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
  - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（ $\square$ ）、イタリック（ $\text{\textit{A}}$ ）、ゴシック（ $\text{\textbf{A}}$ ）、ギリシャ文字（ $\alpha$ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
  - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

2月27日付けのネイチャーに掲載された、ドリーという名のクローン羊の記事が、相変わらず科学雑誌を賑わせている。ところが、クローン生物の作成実験は、今から30年以上前にすでに植物で成功しており、その後カエルでも成功していたのである。それにもかかわらず、生命の謎は依然として神秘のベールに包まれたままなのである。したがって、今回クローン生物の作成が羊で成功したからといって、生物学が飛躍的に進歩することなど全く望めない。

もっとも、今回の話題の焦点は、クローン羊を作成することによって生命の理解がどれほど深まったかではなく、クローン人間の作成が可能かどうかに向けられているのが現状である。あたかも、研究の内容を吟味したり倫理的な議論をするよりも、単に意外性や話題性を優先しているかのような印象すらある。結論を単刀直入に言うならば、私たちがわざわざ実験するまでもなく、クローン人間は現実には数多く存在しているのである！一卵性双生児がその例である。したがって、あえて人工的にクローン人間を作る意義は全くない。この点に関して、発生生物学者の岡田節人は、今から十数年前に、「実験でつくるという発想自体が、ヒトについていうとき全く無内容なものとなります」と述べている（生命科学の現場から、p138）。

科学が大衆に浸透することはおおいに結構なことである。しかし、それによって科学者の社会的責任はますます大きくなっている、といえよう。各人の研究の内容はもちろんのこと、研究会の開催の在り方までも含めて、学問的・学際的・倫理的な議論が活発になされることが必要なのではないだろうか。本誌の存在意義は、そのような議論の場を提供するところにある、と私は確信している。今後とも、多くの方に積極的に投稿していただきたい。湯川秀樹も述べているように、「もろもろの科学の分化発達する根源を現実の世界における人格的な行為に求めねばならぬことは、いまさらいうまでもない」（目に見えないもの、p70）。ただ面白ければよいという研究活動の在り方を、改めて反省してみる時期に来ているのではないだろうか。

（あした天気にな〜れ）

---

物 性 研 究    第68巻第 3 号 (平成 9 年 6 月号)    1997年 6 月20日発行

発行人    村   瀬   雅   俊    〒606-01    京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所    昭 和 堂 印 刷 所    〒606    京都市百万遍交差点上ル東側  
TEL (075) 721-4541~3

発行所    物性研究刊行会    〒606-01    京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額    19,200円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

### 物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内  
電話 (075) 722-3540, 753-7051  
FAX (075) 722-6339

物 性 研 究 68-3 (6月号) 目 次

○研究会報告	
「膜の物理学」.....	251
○編集後記.....	366



物 性 研 究 68-3 (6月号) 目 次

○研究会報告

「膜の物理学」..... 251

○編集後記..... 366